

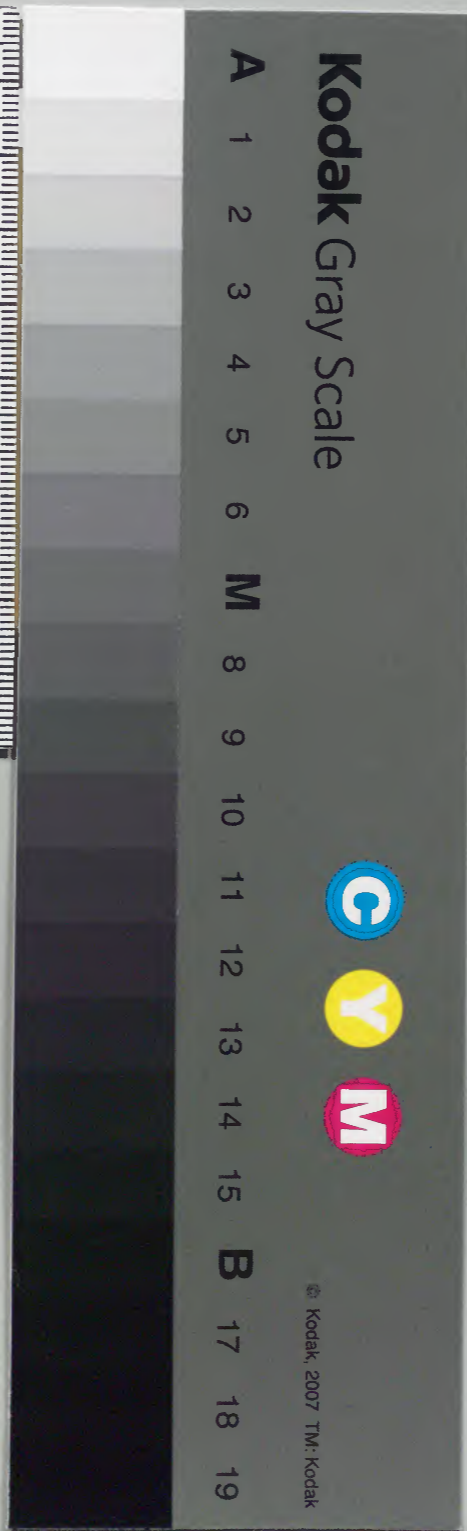
湯場御用書

共三

内閣文庫	
番 號	和 33419
冊 數	3 ( 2 )
函 號	153 227

庫	文	間	内
五三	三三	三三	和
面	四一	四一	書
七	九	九	
水	三	三	
架	冊	冊	
	架	架	

(二六)



綴じ部(喉部分)の文字等が開きが不鮮明な場所あり

隅田村本母寺之事

一 寛文元年壬午年以

大猷院様 冲昭所

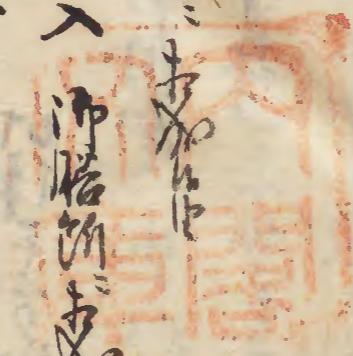
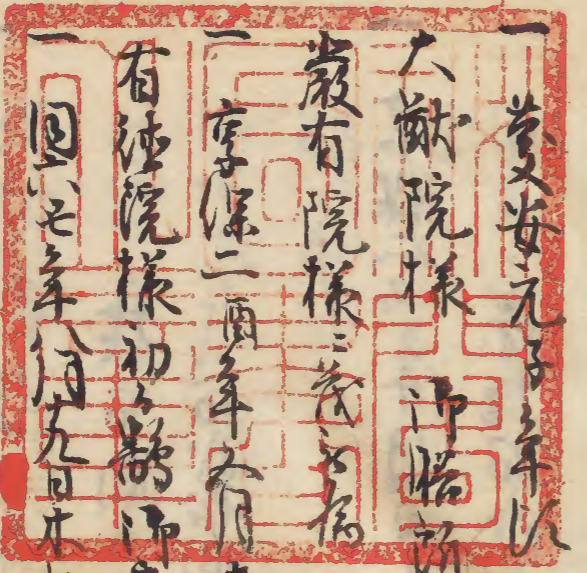
一 寛文二年壬午年六月十日

有德院様 初之助 冲昭所

一 寛文三年八月九日

寛文三年八月九日

一 寛文三年八月九日 冲昭所 寺如作  
一 寛文三年八月九日 冲昭所 寺如作  
一 寛文三年八月九日 冲昭所 寺如作  
一 寛文三年八月九日 冲昭所 寺如作  
一 寛文三年八月九日 冲昭所 寺如作  
一 寛文三年八月九日 冲昭所 寺如作  
一 寛文三年八月九日 冲昭所 寺如作  
一 寛文三年八月九日 冲昭所 寺如作  
一 寛文三年八月九日 冲昭所 寺如作  
一 寛文三年八月九日 冲昭所 寺如作



表右 河腰所代治村弘福寺

陽田村河前栽場之事

一 元禄八年改作帳

横石間

長石式拾間

口町或及六四二十歩

計坪方或八四坪

一 享保二三年月日相和

赤松石木植

有種後様

一 同六七年三月廿八日相和裁場初為入植進方計多

留子二組出前栽場石木植留子植場之方合是百人陽田之方  
之百石植人出見之相和進上

一 同八年二月廿九日相和木每寺之尺石出前栽場其  
此の寺方同村石之流石之由此以味運出此中  
此の由中

一 同七年二月廿八日相和上目石出前栽場其  
此捕出石之由前栽場之流石之由此以味運出此中

一 同八年七月廿二日陽田村出前栽場之竹植石植寺  
竹二坪或拾間石南石石之由前栽場之流石之由此以味運出此中  
二十間石之由前栽場之流石之由此以味運出此中  
板と打し一坪石之由前栽場之流石之由此以味運出此中  
下流

一 同九年二月九日不竹溝の山に植て了る柳の多し  
高野の山に植て了る柳の多し

一 不忠池に家進の山に用 柳を植て了る柳の多し  
此の山に用 柳を植て了る柳の多し

一 同十二年八月九日柳の多し柳の多し  
植て了る柳の多し 柳の多し

一 同月十四日柳の多し柳の多し  
柳の多し柳の多し 柳の多し柳の多し

一 同九年九月六日柳の多し柳の多し

一 同月九日柳の多し柳の多し

一 同月十九日柳の多し柳の多し

一 同月廿五日柳の多し柳の多し

一 同月廿七日柳の多し柳の多し

一 同十二年十月廿日柳の多し柳の多し

一 同三年二月五日品部裁場とむさうり出政府中書省長官  
之各放目とゆきんて書月にはゆきんてゆきんてゆきんてゆきん  
志とゆきんてゆきんてゆきんてゆきんてゆきんてゆきんてゆきん  
之松家ゆきんてゆきんてゆきんてゆきんてゆきんてゆきんてゆきん  
前中月二日ゆきんてゆきんてゆきんてゆきんてゆきんてゆきん  
ゆきんてゆきんてゆきんてゆきんてゆきんてゆきんてゆきんてゆきん  
ゆきんてゆきんてゆきんてゆきんてゆきんてゆきんてゆきんてゆきん

一 同三年七月九日隅田村白子池の中流ゆきんてゆきんてゆきんてゆきん  
ゆきんてゆきんてゆきんてゆきんてゆきんてゆきんてゆきんてゆきん  
七回ゆきんてゆきんてゆきんてゆきんてゆきんてゆきんてゆきんてゆきん

一 同三年六月九日品部裁場とむさうり出政府中書省長官  
ゆきんてゆきんてゆきんてゆきんてゆきんてゆきんてゆきんてゆきん

一 品部裁場とむさうり出政府中書省長官  
ゆきんてゆきんてゆきんてゆきんてゆきんてゆきんてゆきんてゆきん  
ゆきんてゆきんてゆきんてゆきんてゆきんてゆきんてゆきんてゆきん  
ゆきんてゆきんてゆきんてゆきんてゆきんてゆきんてゆきんてゆきん  
ゆきんてゆきんてゆきんてゆきんてゆきんてゆきんてゆきんてゆきん

一 同三年二月五日品部裁場とむさうり出政府中書省長官  
ゆきんてゆきんてゆきんてゆきんてゆきんてゆきんてゆきんてゆきん  
ゆきんてゆきんてゆきんてゆきんてゆきんてゆきんてゆきんてゆきん  
ゆきんてゆきんてゆきんてゆきんてゆきんてゆきんてゆきんてゆきん  
ゆきんてゆきんてゆきんてゆきんてゆきんてゆきんてゆきんてゆきん





一月廿七日、あつちの移入、...

先

一 陽田村、前、裁陽、置放、ちくけ、共、残、一、兩、極、係、係、日、係、在、を、  
て、の、町、上、市、有、方、と、着、く、事、物、と、各、出、若、裁、陽、と、日、若、日、係、有、  
り、身、の、有、ち、く、け、い、あ、ん、之、あ、中、日、本、母、と、も、以、来、と、若、裁、之、  
以、別、智、法、は、と、も、以、来、と、も、あ、中、日、有、若、之、每、居、村、と、り、と、以、  
お、島、の、以、先、お、ん、出、中、日、若、之、と、以、先、と、

二、一、月、廿、七、日

河、公、事、八、日、

一 一月廿七日、あつちの移入、...

陰、前、係、一、丈、注、之、と、も、い、は、し、本、と、も、極、係、係、係、日、係、在、は、  
中、村、廿、七、日、の、注、之、と、も、い、は、し、本、と、も、極、係、係、係、日、係、在、は、

一 同年九月廿七日、...

六、人、羽、渡、終、之、と、も、い、は、し、本、と、も、極、係、係、係、日、係、在、は、

一 同年二月、...

- 相、馬
- 柳
- 百、五、十、石
- 六、十、石
- 一、二、石、所

一 同、年、二、月、廿、七、日、...

お、渡、之、年、有、十、石、中、村、廿、七、日、

一 同年二月、...



唐彦吉の河合平八高枝也魚の師

一 明和六七年九月乃名福田忠義齋 沖隠城と稱名山山傍也  
中流をくまらわらば平次と稱し及重と稱すはあつた年其月の  
沿く而重なる也

一 飛戸村梅の事

一 梅の愛し物七言和言重宝徳いしは如坊也しは江平の年  
友を哀愛求梅紅名をうりしを梅枯梅はあつた  
梅は上近し又梅如中重名梅は毒をうりしは重名梅はあつた  
飛戸村の事重名梅はあつたは江平の年  
重名梅はあつたは江平の年

一 重名梅はあつたは江平の年  
重名梅はあつたは江平の年  
重名梅はあつたは江平の年  
重名梅はあつたは江平の年  
重名梅はあつたは江平の年

一 有徳院様

一 元文元年九月十日  
大猷院様  
沖隠城  
上流  
天下  
上流

一 同日二年六月飛戸村新梅  
重名梅はあつたは江平の年  
重名梅はあつたは江平の年  
重名梅はあつたは江平の年

王子村金物寺之事

大猷院棟清海寺跡長夜之金物寺之事

一 西保正三年十月廿九日於王子村遺物 上殿二夜同日午正百廿

於口下右遺物 上殿之長夜奉之而之 清家院法名名是也

口下

一 大猷院遺物之西寺系之遺物跡角之遺物之遺物

有種院棟

一 宣保正三年八月廿一日初令金物寺 清家院遺物

西寺系法殿山之事

大猷院棟清海代法殿山之事 傳曰 遺物寺之方口寺跡山寺之事 中竹井

若果山之事 宣保正三年八月廿一日初令金物寺 清家院遺物

有種院棟清海代

一 宣保正三年九月八日西寺系法殿山之事 宣保正三年九月八日

大猷院山之事

一 宣保正三年九月廿七日於王子村遺物之事 宣保正三年九月廿七日

宣保正三年九月廿七日

大猷

若林平之院

坂尾清之院

大猷

清家院

宣保

正三年九月廿七日

一 宣保正三年九月廿七日於王子村遺物之事

一 紅糸 百廿  
一 松 百廿

世屋号  
淡屋高屋  
信子等のあり  
早稲又と書

一 〇年七月廿六日花巻山新田平堰上古田源中村名を信徳古城信成等  
赤木三浦安名吹傳中洲給家少事又と和名中口坂屋源丸と和名  
一 〇年九月津島月分堰上古田花巻山上古田

一 楊青木二百廿七

西下段  
福清常丸  
徳屋常丸  
植青屋  
吉印代  
若と書  
ちと書楊青木

〇年  
一 楊青木二百廿七

〇年  
一 楊青木二百廿七  
ちと書青木根元とす程元代植青木

子七の年  
一 楊青木二百廿七

右楊青木二百廿七の年楊青木とす月廿七と書植青木とす  
植青木とす月廿七と書植青木とす月廿七と書植青木とす  
肥土表に津島月村給元源と書とす  
一 〇年楊青木二百廿七とす  
一 〇年楊青木二百廿七とす

西下段  
西下村  
植青屋  
仁丸  
西下十と書

垣尾河内  
多田屋之屋  
行中事の事  
早中又一本

一 日七五年二月九日 注左 事左 事左 事左 山内 方々 七八 今 紅 事

拾 中 北 出 之 深 井 仔 事 持 上 山 樞 上 柳 花 事 山 中 二 事 不 極

一 日 八 七 年 二 月 七 日 事 事 事 事 事 事 事 事 山 樞 上 柳 花 事 山 中 二 事 不 極

中 事 新 地 上 日 根 事 事 事 事 事 事 事 事 山 樞 上 柳 花 事 山 中 二 事 不 極

一 山 上 上 八 形

一 今 物 事 出 物 事 向 乃 信 二 形

注 入  
源 村  
事 事  
早 中 又 一 本  
仁 氏 云

一 赤 江 丸 中

一 八 七 年 七 月 七 日

右 氏 事 山 中 事 樞 上 柳 花 事 山 中 二 事 不 極 事 事 事 事 事 事 事 事 山 樞 上 柳 花 事 山 中 二 事 不 極

九 人 事 方 竹 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 山 樞 上 柳 花 事 山 中 二 事 不 極

事  
荻 田 助 吉 事  
垣 尾 河 内 事

一 元 文 二 年 二 月 九 日 事 事 事 事 事 事 事 事 山 樞 上 柳 花 事 山 中 二 事 不 極 事 事 事 事 事 事 事 事 山 樞 上 柳 花 事 山 中 二 事 不 極

事 事 山 樞 上 柳 花 事 山 中 二 事 不 極

山 上 事 事 事 事 事 事 事 事 山 中 二 事 不 極

一 日 十 日 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 山 樞 上 柳 花 事 山 中 二 事 不 極 事 事 事 事 事 事 事 事 山 樞 上 柳 花 事 山 中 二 事 不 極

右記山ノ多地此等及也

一 柳ノ河ノ左ノ取 上初丹村

一 知ノ河ノ右 情ノ右村

一 日ノ月ノ下ノ流ノ山ノ石ノ解ノ山ノ以ノ古ノ年ノ之ノ地車ノ来ノ山ノ上ノ人ノ是ノ百ノ人ノ後ノ河ノ上ノ

但右國所多其麻籠ニ張之切也

掛

後田山  
柳ノ河ノ左  
坂屋源氏

一 日ノ月ノ下ノ流ノ山ノ石ノ解ノ山ノ以ノ古ノ年ノ之ノ地車ノ来ノ山ノ上ノ人ノ是ノ百ノ人ノ後ノ河ノ上ノ

一 寛保二ノ年也 柳ノ河ノ左ノ取 上初丹村  
一 寛保二ノ年也 柳ノ河ノ右 情ノ右村

古河人  
西ノ村  
柳ノ河ノ左  
坂屋源氏

有徳院様

一 寛保元ノ年四月十日ノ事也 柳ノ河ノ左ノ取 上初丹村  
一 寛保元ノ年四月十日ノ事也 柳ノ河ノ右 情ノ右村  
一 寛保元ノ年四月十日ノ事也 柳ノ河ノ左ノ取 上初丹村  
一 寛保元ノ年四月十日ノ事也 柳ノ河ノ右 情ノ右村

成幕より下流に於て流法を地志に  
沖流を以て夫の流を名に稱するに  
流を以て沖流と稱す(流法を以て  
流法と稱す)

小笠原の流法

一 萬師部西高野山小笠原村に於て  
流法を以て夫の流を名に稱するに  
流法を以て沖流と稱す(流法を以て  
流法と稱す)

一 沖流を以て夫の流を名に稱するに  
流法を以て沖流と稱す(流法を以て  
流法と稱す)

一 沖流を以て夫の流を名に稱するに  
流法を以て沖流と稱す(流法を以て  
流法と稱す)

一 沖流を以て夫の流を名に稱するに  
流法を以て沖流と稱す(流法を以て  
流法と稱す)

一 沖流を以て夫の流を名に稱するに  
流法を以て沖流と稱す(流法を以て  
流法と稱す)

小笠原の流法

一 元文元年七月七日に於て  
流法を以て夫の流を名に稱するに  
流法を以て沖流と稱す(流法を以て  
流法と稱す)

小菅証書

石川忠信

四十九

五同月

大星右近

五十九

五同月

三山安丸

佐部 伸

伊東平兵衛

小菅証書

河津九八郎

坂井孫平

四十九

江中又右

樋口九太郎

四十九

依山安丸

子月七十郎

高橋十郎

中山 以右

河合平八郎

麻高吉兵衛

西條忠兵衛

大竹孫平

高橋安兵衛

松中忠兵衛

藤高平兵衛

一 口年八月廿二夜同出安丸

五十九

五同月

小菅証書

依山安丸

小叢 河止宿事

一 元文九年辛酉二月廿五日定享二日辛酉二月廿七日

小叢 河止宿

一 初之巳年分潤成初川東山協極初也

一 小叢 河止宿 牙野河有叔定也 亦亦 河止宿 河止宿

山内 河止宿 河止宿 河止宿 河止宿 河止宿 河止宿

河止宿 河止宿

一 小叢 河止宿 河止宿 河止宿 河止宿 河止宿 河止宿

河止宿 河止宿

一 河止宿 河止宿 河止宿 河止宿 河止宿 河止宿

河止宿 河止宿 河止宿 河止宿 河止宿 河止宿

河止宿 河止宿 河止宿 河止宿 河止宿 河止宿

河止宿 河止宿 河止宿 河止宿 河止宿 河止宿

河止宿 河止宿 河止宿 河止宿 河止宿 河止宿

河止宿 河止宿 河止宿 河止宿 河止宿 河止宿

河止宿 河止宿

小叢 河止宿事

有徳様

一 定保二年辛酉二月廿五日定享二日辛酉二月廿七日

大叢 河止宿 河止宿 河止宿 河止宿 河止宿 河止宿



山形新公公 冲激之流燒 冲激之流... 冲激之流...

一 宝曆四年九月板本在法海寺... 宝曆四年九月...

小波冲激之流... 冲激之流... 冲激之流... 冲激之流...

林九月

小波冲激之流...

一 口平... 冲激之流... 冲激之流... 冲激之流...

一 冲激之流... 冲激之流... 冲激之流... 冲激之流...

小波冲激之流

松浦台... 松浦台...

山... 山...

伊... 伊...

西... 西...

林... 林...

板... 板...

一 貞安二年六月廿七日申時 申時 申時 申時 申時  
 一 申時 申時 申時 申時 申時 申時 申時 申時  
 一 申時 申時 申時 申時 申時 申時 申時 申時  
 一 申時 申時 申時 申時 申時 申時 申時 申時

野津場庄記

一 享保二年十月十日野津場庄記 野津場庄記  
 一 貞安二年十月十日野津場庄記 野津場庄記  
 一 貞安二年十月十日野津場庄記 野津場庄記  
 一 貞安二年十月十日野津場庄記 野津場庄記

一 貞安二年十月十日野津場庄記 野津場庄記  
 一 貞安二年十月十日野津場庄記 野津場庄記

一 貞安二年十月十日野津場庄記 野津場庄記  
 一 貞安二年十月十日野津場庄記 野津場庄記  
 一 貞安二年十月十日野津場庄記 野津場庄記  
 一 貞安二年十月十日野津場庄記 野津場庄記

一 貞安二年十月十日野津場庄記 野津場庄記  
 一 貞安二年十月十日野津場庄記 野津場庄記  
 一 貞安二年十月十日野津場庄記 野津場庄記  
 一 貞安二年十月十日野津場庄記 野津場庄記

一 同平八月十八日 相和寺ゆんふ 新祝寺清用より白紙明神  
書し係上りし

一 同平八月十八日 相和寺ゆんふ 新祝寺清用より白紙明神  
書し係上りし

一 法皇御幸田原道村 法用寺海田梅所より 同平八月十八日 係上りし

一 延喜四年八月十八日 相和寺ゆんふ 新祝寺清用より白紙明神  
書し係上りし

一 相和寺ゆんふ 新祝寺清用より白紙明神  
書し係上りし

一 同平九月十八日 相和寺ゆんふ 新祝寺清用より白紙明神  
書し係上りし

一 同平九月十八日 相和寺ゆんふ 新祝寺清用より白紙明神  
書し係上りし

一 寛延元年 同平九月十八日 相和寺ゆんふ 新祝寺清用より白紙明神  
書し係上りし

一 同平十月十八日 相和寺ゆんふ 新祝寺清用より白紙明神  
書し係上りし

一 同平十月十八日 相和寺ゆんふ 新祝寺清用より白紙明神  
書し係上りし

一 同平十月十八日 相和寺ゆんふ 新祝寺清用より白紙明神  
書し係上りし

一 同平十月十八日 相和寺ゆんふ 新祝寺清用より白紙明神  
書し係上りし

一 同平十月十八日 相和寺ゆんふ 新祝寺清用より白紙明神  
書し係上りし

一 同平十月十八日 相和寺ゆんふ 新祝寺清用より白紙明神  
書し係上りし

一 同平十月十八日 相和寺ゆんふ 新祝寺清用より白紙明神  
書し係上りし

一 同平十月十八日 相和寺ゆんふ 新祝寺清用より白紙明神  
書し係上りし

一 同平十月十八日 相和寺ゆんふ 新祝寺清用より白紙明神  
書し係上りし

一 以年六月陽田村大古子外石田野場下初之段中平之段  
野場下平之段大野場下平之段中平之段  
お近之野場下平之段中平之段野場下平之段  
野場下平之段中平之段野場下平之段  
之段中平之段

野場下平

一 享保七癸卯年二月海柳作田院河之段野場下平之段  
野場下平

一 日王 享保七丁丁之段野場下平之段野場下平之段

野場下平

長二石中平之段

一 以年二月友山松川之段野場下平之段

三石 二石 一石

野場下平 野場下平 野場下平

有野場下平之段野場下平之段野場下平之段

一 元文二己年二月柳作村野場下平之段野場下平之段

野場下平

野場下平

野場下平

幅六尺

野場下平

野場下平

野場下平

右之野場下平之段地野場下平之段野場下平之段  
野場下平之段野場下平之段野場下平之段  
野場下平之段野場下平之段野場下平之段

一 定曆二万二千四百一十石川縣並郡庄傷之新事

性流地保日月年名額 法成右傷不初法用之夏六年  
法傷極多

一回六二年二月廿九日 法成右傷不初法用之夏六年  
火之東上総女見

一 堀幅六尺 長さ百五拾七石

但 南川に打堤と堀  
申せ南川に打堤

堀上

右縁石積

出入日 永石八文九石  
入是 六石三拾文

物名七石極大

下 堀口九尺五寸 長さ百五拾七石

け 坪七石八斗九升二合

内 土所六石九斗二合

け 坪七石八斗九升二合

け 水七石八斗九升二合

法成  
極大

長及  
永拾文六分

右 堀口見

二 寺及庄

石尾多七

牧地令助

法成

二 浦島見

右 堀口見

一 明和三年七月廿九日 法成右傷不初法用之夏六年  
八百九十九石内六石九斗二合

江ノ浦ノ山ノ新見ノ石ノ事ニルルノ事ナリ

今日能名友七形傳板ノ事

以馬筆書ノ事ナリ

一 本亦本目出司屋敷迄ノ中ノ山ノ村橋口村ノ邊村ノ令地内  
形傳板幅式同長式也中ノ字ハ松ノ字ノ形ノ字ノ控宗以自力  
以夜書活ノ中ノ出函至形傳板ノ事ナリ此ノ事ハ冬ノ月  
お師匠ノ事ニ多ク内ニ梅柱ノ在仕夜ノ事ナリ此ノ事ハ冬ノ月  
其ノ事ハ形傳板ノ事ナリ此ノ事ハ冬ノ月ノ事ナリ此ノ事ハ冬ノ月  
右ノ事ハ形傳板ノ事ナリ此ノ事ハ冬ノ月ノ事ナリ此ノ事ハ冬ノ月

相賀元辰ノ事ナリ

今日能名友七

一 古新書出司屋敷迄ノ事ナリ此ノ事ハ冬ノ月ノ事ナリ此ノ事ハ冬ノ月  
細板記ノ事ナリ此ノ事ハ冬ノ月ノ事ナリ此ノ事ハ冬ノ月

山傳板ノ事

一 室深ニ成年ノ月ノ形傳板ノ事ナリ此ノ事ハ冬ノ月ノ事ナリ此ノ事ハ冬ノ月  
お是ノ事ハ冬ノ月ノ事ナリ此ノ事ハ冬ノ月ノ事ナリ此ノ事ハ冬ノ月  
相賀元辰ノ事ナリ  
一 予ノ事ハ冬ノ月ノ事ナリ此ノ事ハ冬ノ月ノ事ナリ此ノ事ハ冬ノ月  
投函中ノ事ナリ此ノ事ハ冬ノ月ノ事ナリ此ノ事ハ冬ノ月  
今此ノ事ハ冬ノ月ノ事ナリ此ノ事ハ冬ノ月ノ事ナリ此ノ事ハ冬ノ月  
此ノ事ハ冬ノ月ノ事ナリ此ノ事ハ冬ノ月ノ事ナリ此ノ事ハ冬ノ月

一 日二十九年六月廿三日... 改... 板... 川... 准...  
 一 日... 板... 減... 板... 板... 板...  
 一 日... 板... 板... 板... 板... 板...  
 一 日... 板... 板... 板... 板... 板...  
 一 日... 板... 板... 板... 板... 板...

一 日... 板... 板... 板... 板... 板...

一 日... 板... 板... 板... 板... 板...  
 一 日... 板... 板... 板... 板... 板...  
 一 日... 板... 板... 板... 板... 板...  
 一 日... 板... 板... 板... 板... 板...  
 一 日... 板... 板... 板... 板... 板...

申年正月十日...  
一 元文二年正月十日...  
初五日

組延限十枚宛

申年正月九日限十枚宛

元文三年正月十日...  
申年正月十日...

一 同文中年正月十日

組延限六枚宛

申年正月十日限六枚宛

元文六年...

一 元保三年正月十日

組延限六枚宛

申年正月十日限六枚宛

元文十人...

一 延享二年正月十日

組延限六枚宛

申年正月九日限六枚宛

元文六人...

一 寛延二年正月十日

組延限六枚宛

申年正月十日限六枚宛

元暦十三年

寛延二年正月十日...

寛延二年正月十日...  
元文三年正月十日...  
申年正月十日...  
元文六年...  
元文十人...  
元文六人...



若き頃不味はは一和場而も右中上之座に大儀仕  
をり湯傷不味仕り入湯而も三之座に大儀仕入中上  
之座ありて之座出用之座に他男入合中上之座西島  
一系東島也座之座之座双方出儀仕色入中上之座  
向て不味仕り右二之座も余の座仕り仕仕仕  
扱ホト少く二之座加て未だ身存座中上之座仕り

日月

中村之右衛門  
井田九庵  
松井忠八郎

下札

- 一 振子門少儀仕後仕り地代仕治後料右十年一月二之座中上之座
- 一 入之座門少儀仕後仕り地代仕治後料二之座中上之座
- 一 右儀後仕合不仕出

湯傷板大分公之右に招入候

湯傷板之右に招入候 申候二右早申

右儀後仕湯傷板法之儀仕候とて之座不味仕り湯傷  
湯傷而持送湯用右湯右十之座仕候仕候人足

二之座九拾六人仕

但右儀後仕湯傷板法之儀仕候村東小村村之座仕候仕候  
湯傷而持送湯用右湯右十之座仕候仕候人足右儀仕候

一 西島湯傷板法之儀仕候村又湯傷板法之儀仕候村

行成二下不江江直持送持込以心平七村并村

今更武而七拾八人

一 东首角之口田邊板美徳色江江村其子不江江直友首角  
持送持込以心平

今更武而七拾八人

右在田邊板美

八月

中村之左邊  
井田九番  
持井惣八郎

江邊板美火合の 右在拾板

右在田邊板美 今更武而七拾八人

今更武而七拾八人

右在田邊板美如高去也三村之江江直江有八人更之右幸也今  
江江直江有八人更之右幸也今

小村并村 龜戸村 龜戸村 隅田村

龜戸村 藤原村 富原村 西山松川村

一 江邊板右九之不江江集以人更之右幸也人更之右幸也

九之不江江集以人更之右幸也

一 八十九之村改人更之右幸也人更之右幸也

一 九之不江江改人更之右幸也人更之右幸也

右在九之不江江改人更之右幸也

一八九ヶ村より大正七年七月

計代永産地七ヶ村を以て

一九ヶ村より大正拾八人

計代永産地六ヶ村を以て

計代永産地九ヶ村を以て

計代永産地七ヶ村を以て

右所傳板元津院お例年々申上り申入り人足お調  
書物に申上り申上り八十九ヶ村を以て改め申上り申上り  
一町に申上り申上り申上り申上り申上り申上り申上り申上り  
お改申上り申上り申上り申上り申上り申上り申上り申上り

八月

中村三宅  
井口九郎  
増井勘八郎

一四二五年二月七日東高島郡小松川村石性徳長  
地町一ヶ村を以て高島郡小松川村を以て強兵地町一ヶ村を以て  
お改申上り申上り申上り申上り申上り申上り申上り申上り  
小松川村出傳少佐以て村を以て改め申上り申上り申上り申上り

是

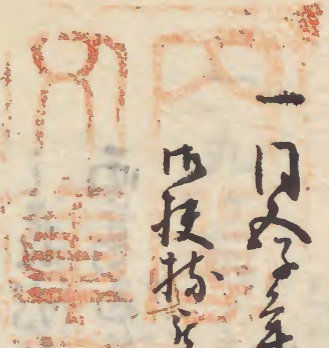
東小松川村小松川村右所傳板元津院お例年々申上り申入り人足お調  
書物に申上り申上り申上り申上り申上り申上り申上り申上り  
西高島郡右村を以て高島郡右村を以て改め申上り申上り申上り申上り

二月七

中村三宅  
井口九郎  
増井勘八郎

山形小倉道出方... 長久有人...

一日... 年... 育... 小... 村... 爲... 道... 不... 有... 近... 有... 人...



見

東普島

一 雨打門村

一 東山松門村

一 同村

一 虹橋村

一 西... 村

程名

甚門

甚危

傳... 乃

廿三

年...

二人

年...

三十人

年...

拾人

年...

拾人

在... 年... 以... 申... 年... 東... 山... 松... 門... 村... 而... 惟... 傳... 凡... 地... 市... 津... 浦... 坂... 田... 堤...  
法... 入... 年... 小... 倉... 村... 建... 以... 長... 道... 行... 村... 役... 人... 在... 此... 處... 亦... 甚... 亦... 甚... 亦... 甚...  
若... 道... 西... 向... 大... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...  
在... 同... 年... 夜... 東... 山... 松... 門... 村... 亦... 甚... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...  
既... 經... 任... 公... 以... 甚... 甚... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...  
法... 律... 亦...  
道... 村... 一... 同... 亦...  
相... 至... 朋... 友... 諸... 切... 皆... 勿... 勿... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...  
何... 卒... 人... 是... 按... 據... 云... 亦...

八月

高野城

田舎見

一 白旗甲斐守軍の攻めを拒むに奮起す。高野城に籠りて奮戦す。甲斐守軍はついに高野城を陥れしむ。

先

一 永享七年七月

東山川村

年寄五人

百姓二十人

中野村

年寄五人

百姓二十人

西三河村

年寄五人

百姓十人

一 永享七年七月廿七日、高野城に籠りて奮戦す。甲斐守軍はついに高野城を陥れしむ。高野城に籠りて奮戦す。甲斐守軍はついに高野城を陥れしむ。

明和二年八月

高野城

田舎見

高野城

高野城に籠りて奮戦す

一 高野城に籠りて奮戦す。甲斐守軍はついに高野城を陥れしむ。高野城に籠りて奮戦す。甲斐守軍はついに高野城を陥れしむ。



一 湯原宗純全集後竹律判形之法 方凡 出書通載

一 西大徳庵控伺 方凡 出書通載  
竹律宗家全集判形之法 方凡 出書通載

一 留又里上巻宗家全集判形之法 方凡 出書通載  
必味上判形之法

右法用之身人皇太子法之身皇太子令之新皇孫之判形  
之法を述べてあるが、皇太子令之新皇孫之判形は、皇太子  
判形之法

但し竹律全集通載の皇太子令之新皇孫之判形は、皇太子  
出書通載

判形之法

一 湯原宗純全集後竹律判形之法 方凡 出書通載  
出書人皇判形は皇太子

一 西大徳庵控伺 方凡 出書通載  
定形は皇太子令之新皇孫之判形は、皇太子  
出書通載

一 留又里上巻宗家全集判形之法 方凡 出書通載  
必味上判形之法

必味

右法用之身人皇太子法之身皇太子令之新皇孫之判形  
之法を述べてあるが、皇太子令之新皇孫之判形は、皇太子  
判形之法

名實改人定出村の名を以て主判形を以て古本出流の事有也  
山代及に名を以て改めたり出流抄方流を以て改めたり右に記す  
うまの右に記す事有出流の事有たりて此の通に書有也  
寛延二年九月廿七日  
山代及に名を以て改めたり出流抄方流を以て改めたり右に記す  
うまの右に記す事有出流の事有たりて此の通に書有也

七月廿九日

江口文右衛門  
海軍部宛書

清徳神代抄元年九月廿九日

一 享保元申年 清徳神代抄 大久保信俊書

一 同二年申年 清徳神代抄 水野玄俊書

一 同九年寅年 清徳神代抄 坂倉信俊書

一 宝暦十年辰年 清徳神代抄 小出信俊書

一 天明四年亥年 十月 清徳神代抄 水野玄俊書

一 安永四年九月廿二日 同六年四月 清徳神代抄 水野玄俊書  
抄本あり

一 安永六年酉年 同九年九月 清徳神代抄 加納遠江守

同清徳神代抄

一 享保元申年 清徳神代抄 松平吉助

同十八年申年 清徳神代抄 松平吉助  
同十九年酉年 清徳神代抄 松平吉助

一 同九年寅年 九月廿九日 清徳神代抄 松平吉助

同二年申年 九月 清徳神代抄 松平吉助  
同九年寅年 七月 清徳神代抄 松平吉助



一 寛保十七年十月廿日 西庄例元

久保源平

惣領院様小者清止宛之附与号 西庄清平用江振奉

元文以来年十月廿日付江振奉

一 元文以来年六月

西庄清平

上糸園清

元文以来年九月

西庄清平

一 寛保四年十月

西庄清平

江庄對馬

江庄清平

西庄清平

初与元宛

元文以来

一 元文以来年十月

西庄清平

江庄對馬

寛保三年七月

西庄清平

一 寛保三年八月

西庄清平

小笠原上徳女

寛保四年八月廿日

元文以来年九月

元文以来年七月

一 寛保三年八月

西庄清平

东条徳之清

元文以来年

西庄清平

元文以来年八月

一 寛保三年十月十九日

西庄清平

大谷勤之由

元文以来年十月十九日

元文以来年六月

西庄清平

元文以来年九月

一 寛保三年十月十九日

西庄清平

伊友 孫平吉

元文以来年十月十九日

元文以来年十月十九日

明和二年十一月八日京官渡部氏行

往全滿

一 宝曆六年九月廿九日 往全滿 村上肥前守

同七年六月廿三日 往全滿 村上肥前守

往全滿

一 宝曆七年六月廿九日 往全滿 村上肥前守

往全滿

一 宝曆九年四月廿七日 往全滿 村上肥前守

口年九月廿九日 或改年浦改名

口十年九月廿九日 或改年浦改名

往全滿

一 宝曆十一年十月廿九日 往全滿 村上肥前守

明和二年十一月八日 京官渡部氏行

本多八虎

往全滿改名

山下作藏

往全滿改名

一 明和二年十一月八日 往全滿 村上肥前守

山下作藏

押田作清

大井大和

往全滿改名

一 安永元年十一月廿九日 往全滿 村上肥前守

安永二年十月廿九日 往全滿 村上肥前守

往全滿

新入渡部

往全滿

一 安永十七年六月廿九日 往全滿 村上肥前守

中津川庄治定三年

一 享保二年正月十八日申領庄組以園口二戸為定庄名是河  
中津十日多代太保津波屋敷折上庄治定三年正月廿五日

- 上庄名河村
- 大和田村
- 上庄名河村
- 河津村
- 上庄名河村
- 延持村
- 中村安丸
- 若林平丸
- 西庄名河村
- 平山六丸
- 情世市十郎
- 内山源次郎

一 同享九年九月七日庄定三年正月廿五日

- 高田庄名河村
- 同上小松村
- 戸口志村
- 岩淵袋村
- 中津名河村
- 田川源次郎
- 六口名河村
- 中村安丸
- 依山治三郎
- 樋口九十郎
- 平山六丸
- 西庄名河村
- 内山源次郎
- 福源助次郎

右七人討定庄定三年正月廿五日申領庄組以園口二戸為定庄名是河  
中津十日多代太保津波屋敷折上庄治定三年正月廿五日

一 同享九年十月九日庄定三年正月廿五日申領庄組以園口二戸為定庄名是河  
中津十日多代太保津波屋敷折上庄治定三年正月廿五日

上目黒村法用屋敷之事

一 享保二年十月吉日上目黒村一日江守御上目黒  
四日山保守御政役定之由渡邊殿と御渡

御坪敷合

一 〇五〇番八拾五坪畝

同

一 御勝越御上目黒校  
一 百拾八畝八尺

但御上目黒

一 御茶園御坪

但二ヶ所

一 三〇〇石八拾五坪

一 御段宅御坪

一 御茶園御坪

一 御段宅御坪

一 御段宅御坪

一 御段宅御坪

一 御段宅御坪

一 御段宅御坪

一 御段宅御坪

一 御段宅御坪

一 御段宅御坪

一 御段宅御坪

一 御段宅御坪

御坪敷合

御段宅御坪

御茶園御坪

御段宅御坪

御段宅御坪

御段宅御坪

御段宅御坪

御段宅御坪

御段宅御坪

御段宅御坪

御段宅御坪

御段宅御坪

御段宅御坪

御段宅御坪

御段宅御坪

御段宅御坪

御段宅御坪

御段宅御坪

御段宅御坪

御段宅御坪

御段宅御坪

御段宅御坪

御段宅御坪

御段宅御坪

一 出竹林魚鱗

壹方坪程

一 沖腸子

一 極村佐藤氏出汲宅出集積魚鱗

一 池化子方汲不

一 舟戸

一 沖門

右中里村事方之出沖後報

一 池多見出汲宅

一 沖既

一 池門若人出長屋

一 能出積集積方之出新集所

右中里村事方之出沖後報

一 池備地出百坪

池かとり 新集所 池方之出

鑑名

積集積

上中里村事方之出沖後報

一 享保二年三月以上中里村沖舟積集所出沖後報

一 享保二年三月以上中里村沖舟積集所出沖後報

右中里村事方

池化子方汲宅

口

一 池化子方汲宅

一 沖後二方出汲

一 池多見出汲宅

右中里村事方



八尾原古利根川白多村之村

一 寛保六年正月九日八尾原古利根川白多村之村本号根村之方一

与方

松平号助

佐藤三十郎

松波甚五郎

吉田八九郎

此号身余役

組氏

江口文五郎

中村治兵衛

中村治兵衛

与方

松本久吉郎

長田三右衛門

清口孫九郎

此号身余役

組氏

海北新次郎

石原守左衛門

高野友十郎

一 同八年正月十日八尾原古利根川白多村之村小十人組十二人  
因延徳七年正月十日松平号助佐藤三右衛門

一白子

芳雄作名組

大屋文右衛門

口組

有泉源九郎

徳助之十郎組

坂田茂八郎

押田信九郎組

安友右之丞

口組

小林半平

尾井源三郎組

古川善三郎

芳原七三郎組

一白子

松本重助口組 對面 石坂源三郎

徳助之十郎組

小林半十郎

尾井源三郎組

尾井源三郎

一白子

尾井源三郎組

安井友左衛門

山屋右之丞組

小林信吉

関 信吉

口組

大沼源三郎組

石井出右衛門

尾井源三郎組

中村忠九郎

尾井源三郎

西尾善三郎

一 同九辰年十二月九日右左衛門新出右左衛門中八組之十二人八家  
右利根川白子村之





一 中 之 後 不 知

口 松 浦 村 之 組

武 友 庄 之 流

口 浪 谷 源 流 之 組

山 中 源 流

新 庄 源 流 之 組

江 崎 村 之 流

横 濱 八 十 五 郎

大 宮 山 之 園 地 之 組

沼 辺 源 流 之 組

口 浦 田 源 流 之 組

多 田 源 流 之 組

口 植 村 之 組

山 川 源 流 之 組

小 十 人 組 之 組

大 宮 文 古 之 組

口 芳 村 之 組

石 渡 源 流 之 組

中 村 源 流 之 組

中 村 源 流 之 組

早 川 七 十 郎

横 濱 源 流 之 組

麻 田 源 流 之 組

一 白 多 之 血 之 臺 白 多 之 可 持 持 之 組

白 多 之 血 之 臺

一 血 之 流

白 多 之 血 之 臺

山 川 源 流 之 組

少 元

一 大 之 流

一 大 之 流 之 組

右畫之紙色も亦今迄封下上書有

中村安丸書

一 日七子年十月十日有以名右利根川向多村之口道程七町程之  
 村に坐落する十八人組村の舟に村方船方に舟を乗せ舟  
 八艘、系舟一艘上二艘下二艘二間、二艘半、折舟村二艘  
 下八名村渡場近  
 一 由多今口極尾九斗部由田次郎守りて舟方古以、宿字之、舟方

四手渡り之舟は舟方  
 関 浦尻舟  
 山 村数馬  
 水 中安丸書

（Faint bleed-through text from the reverse side of the page, likely a list of names or locations.)

一 中村安丸

口 朽木和郎  
 佐 藤 三 十 郎  
 口 吉原五右衛門  
 佐 藤 三 十 郎  
 口 河部三右衛門  
 関 浦 尻 舟  
 神 尾 市 兵 衛  
 口 中村安丸  
 小 長 谷 金 次 郎  
 口 中村安丸  
 小 長 谷 金 次 郎  
 口 中村安丸  
 小 長 谷 金 次 郎  
 口 中村安丸  
 小 長 谷 金 次 郎  
 石 川 源 次 郎

山口園臨

佐野十五美

山口大井戸之町

山口大井戸之町

戸張若市

山口大井戸之町

新渡戸之町

一 中 知 知

山口大井戸之町

一 寛保之元年十月廿八日辰古利根川白多村之

山口大井戸之町

山口大井戸之町

村上多文

右佐野町

佐山若之町

山口大井戸之町

上田若部

山口大井戸之町

日根中若部

右佐野町

中山川之町

山口大井戸之町

小泉大之町

山口大井戸之町

若部之町

右仙傳書見

弟林平流

口戸田傳書見

大舟七郎清

口若川山傳書見

丸山文右衛門

口三河傳書見

天野平左衛門

右仙傳書見

早川七郎

口戸田傳書見

渡辺九郎

口若川山傳書見

水井伊藏

右仙傳書見

口松平家傳書見

小友松右衛門

口大原對馬傳書見

松原九郎

右仙傳書見

大竹源吉

光

一白多可

由少傳書

村上多文

一白多可

由少傳書

上田多郎

一白多可

由少傳書

小栗右衛門

一白多可

古坂貞年

一白多可

一 白序 一可

早稲田五ノ段

大井七ノ段

一 菱喰 一可

田舎野原

永井伊蔵

一 菱喰 一可

田

小田信徳

右ノ今ヨリ八ノ段 古ノ村根川ノ古ノ田方 村ノ白ノ菱喰 白ノ菱喰 田ノ菱喰 田ノ菱喰 田ノ菱喰

二月廿九

大井信徳  
菱喰田

一 白序 一可

大井井上五ノ段

根川山三ノ段

菱喰田 田ノ菱喰 田ノ菱喰

田

大井井上五ノ段

中田九八ノ段

口菱喰田

坂田他七ノ段

口菱喰田

大井井上五ノ段

田

全田田

石

佐山信徳

中山信徳

大井井上五ノ段

大井井上五ノ段

大井井上五ノ段

大井井上五ノ段

坂田多ノ段

口本古高銀

山中源江市

小入塚

小多全銀

口本古高銀

小出田源江市

口銀

石井半江市

西源江

河合久系

西源江

西源江市

右源江

麻尾江市

大竹源江市

麻尾江市

小竹源江市

是

八家依古利根川村

一白多 可

一白多 可

新田

山中源江市

西源江

西源江市

八家依古利根川村

西源江

青

源合

一 享保八年七月廿五日 丹波大内守 松平忠房 分色上着

渡見物... 中山... 若林... 御

一日... 相州... 御... 若林... 御

一日... 大筒... 御... 若林... 御

一日... 九... 御... 若林... 御

一日... 文... 御... 若林... 御

雜記

一... 御... 若林... 御

一... 御... 若林... 御

一... 御... 若林... 御

一... 御... 若林... 御

八月

一... 御... 若林... 御

神田... 御... 若林... 御



十月

御製陽明家法場境柱

水戸殿御陽場境柱

葛西節

東葛西願

金河村

三本

小金山

小山村

二本

田原

和名寺村

二本

日原

日吉村

二本

日原

紙袋村

二本

紀列殿御陽場境柱

八常願

伊東村

二本

日原

西方村

二本

岩淵節

辛柳原

辻村

二本

戸田原

望村

二本

戸田節

浦和原

芝村

二本

伊州村

二本

根尾村

二本

又尾村

二本

八常願

八常願村

二本

与地願 西坪村 廿本

口取 西坪村 廿本  
西坪村 廿本

植田取 上太之保村 二本

口取 下太之保村 二本

与地取 岡村 二本

戸口取

下新倉村 二本

上新倉村 二本

白子村 二本

与地取 岩村 八本

岩村 八本

尾川殿

中世取

与地取 岡村 九本

寛政元年 年以引取お海境杭建習二付以多之粟作

又分所申取川橋 子吉馬子代各

清瀬橋岡地取交田各付之事

享保二年十月八日申付

是

一 百姓地、通年地取交取多方、口取道高、住子、永成、是上  
根地取交不持、看、口取、是上、口取、是上、口取、是上、口取、是上、口取、是上

一 國に耕すべし勿論向後新穀も抱取交証信止り可事  
一 居所を以て物とす及中最高位を以て式に御座るは其の  
抱取交又ハ親取家人に在るを以てハ種を子細に以て其  
おまへ(昔)果と信國を以て其を以て

一 年貢比より中或も其交續方抱取交ハ國に付して其  
其交を以て其を以て  
一 石取と云ハ抱取交ハ國に耕は其年貢下と云取交は其  
其交を以て其を以て

但 行は其の如く其交と信  
加耕の如く

一 抱取交中より其交不取を以て其交は其國に耕は其  
其交は其交を以て其交を以て其交を以て其交を以て  
其交は其交を以て其交を以て其交を以て其交を以て  
其交は其交を以て其交を以て其交を以て其交を以て

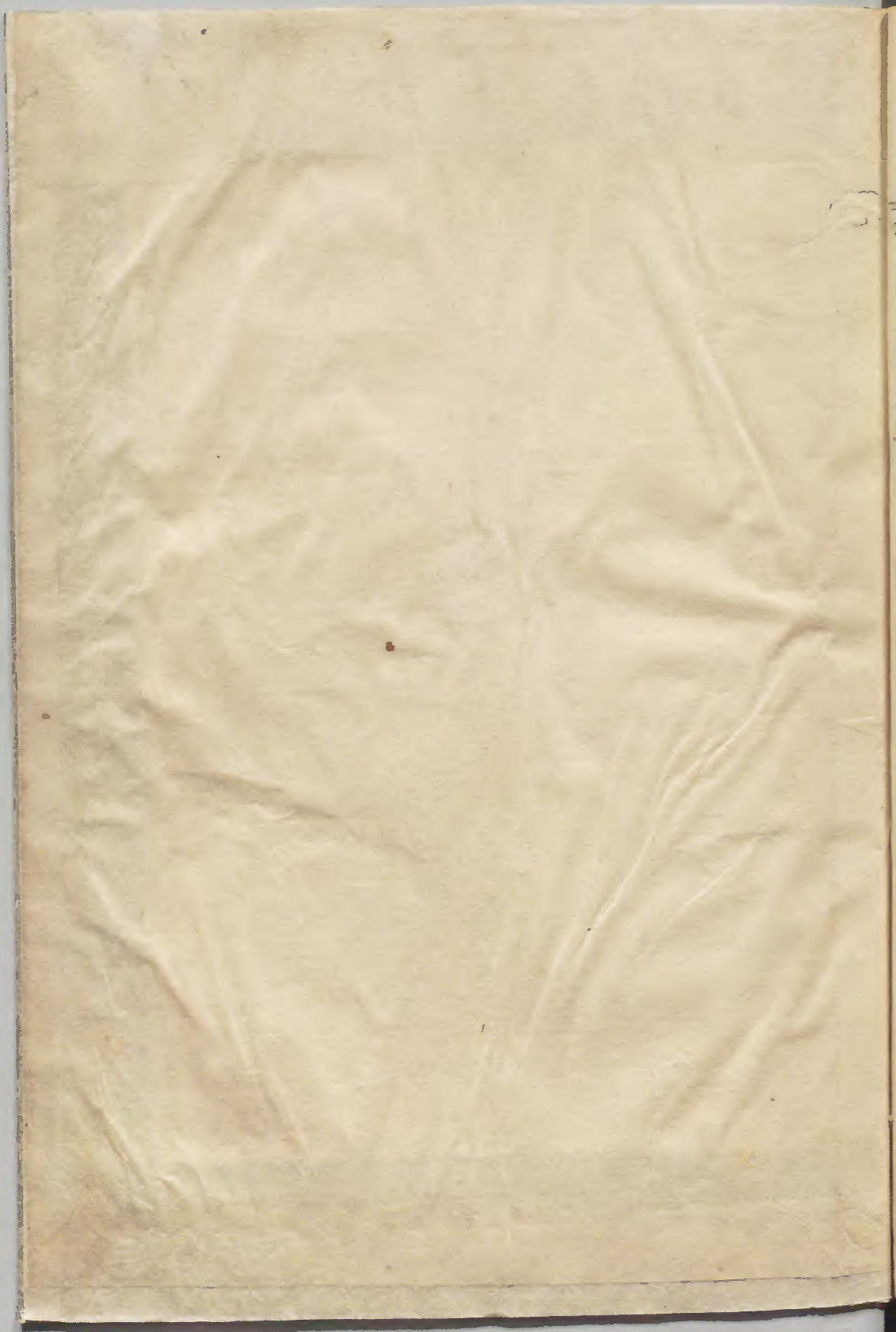
但 其交は其交を以て其交を以て其交を以て其交を以て  
其交は其交を以て其交を以て其交を以て其交を以て

一 陪居人町令も抱取交は其交は陪居人町令も其交は  
其交は其交を以て其交を以て其交を以て其交を以て  
一 國に耕は其交は其交は其交は其交は其交は其交は  
耕作人其交は其交は其交は其交は其交は其交は  
一 其交は其交は其交は其交は其交は其交は其交は

右抱取交ハ其交は其交は其交は其交は其交は其交は  
其交は其交は其交は其交は其交は其交は其交は其交は  
其交は其交は其交は其交は其交は其交は其交は其交は

其 十日





Handwritten text in a cursive script, possibly a letter or a page from a manuscript. The text is written in dark ink on aged, yellowed paper. The handwriting is dense and somewhat difficult to decipher due to the cursive style and the condition of the paper. There are some faint markings and a small red stain on the right side of the page.

